

1 夜間・休日の緊急微生物検査体制の現状

2

3 ○秋倉史, 高橋弘志, 岩間暁子, 嶋野美和, 足達由佳里
4 (国保君津中央病院微生物検査室)

5

6 【目的】 検体検査管理加算の変更に伴い院内の緊急
7 検査に微生物検査が追加された。微生物学的検査は
8 『細菌顕微鏡検査』が要件になり『排泄物, 滲出物又
9 は分泌物の細菌顕微鏡検査』の実施が要求され, 2008
10 年4月より施行された。今回, 当院における半年間の
11 夜間休日微生物検査体制の検体提出状況と顕微鏡検
12 査トレーニングの実態を報告する。【方法】夜間休日
13 の検査実施項目は抗原検査12項目と血液培養24時
14 間受付処理, グラム染色と抗酸菌染色(チール・ネル
15 ゼン染色), 髄液の塗抹・培養処理である。4~9月の6
16 ヶ月間に夜間休日時間帯に提出された検体は2212
17 件で総検体数の26.6%であった。内, 血液培養が692
18 件で下気道358件, 消化器系274件で約6割を占めて
19 いた。緊急顕微鏡検査依頼は5件, 抗原検査は128
20 件で季節により異なるが一日平均1~2件, 最大5~
21 7件で, 重症肺炎診断に尿中抗原や院内感染対策上
22 でもウイルス抗原検査が実施されている。結核菌検
23 査は夜間が185件と全体の16.5%であったが緊急顕
24 微鏡検査依頼は3件ですべて細菌検査担当者が対処
25 (呼出)した。血液培養は約65.6%が夜間休日時間帯
26 で陽性を示し, その陽性の1/3(34回)を細菌担当
27 者が対応した。髄液の検体数は106件中39件(36.8%)
28 が時間外に提出され, 7件が担当者呼出対応した。そ
29 の内1件が細菌性髄膜炎であった。また5月から顕
30 微鏡検査のトレーニングを施行し, 評価4(業務達成
31 度75%)になるまで継続しているが, 達成できている
32 のは細菌経験者1名のみである。【まとめ】微生物以
33 外の緊急検査多忙から夜間休日時間帯の緊急対応は
34 抗原検査と血液培養検査が中心である。グラム染色,
35 抗酸菌染色は数件であるため細菌担当者呼出と毎週
36 日曜日の検体処理業務を実施して臨床への報告遅延
37 を補っている現状である。また当直技師には染色な
38 ど技能を有する業務はトレーニングの積み重ねを要
39 望している。連絡先:0438-36-1071